



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日  
東

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所  
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋元 直行  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1236  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,525	4.1	24	168.0	12	31.2	12	93.4
25年3月期第2四半期	2,426	△0.4	9	△48.1	9	134.6	6	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 40百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △22百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.99	—
25年3月期第2四半期	0.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,829	894	17.9
25年3月期	4,860	854	17.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 863百万円 25年3月期 824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	2.5	100	34.3	70	△2.6	40	△22.3	3.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	12,317,000株	25年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	47,478株	25年3月期	47,128株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	12,269,814株	25年3月期2Q	12,270,688株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策及び金融政策の効果等を背景に、輸出環境の改善や各種政策の効果等により生産も緩やかな増加傾向にあり、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復への期待が高まっております。しかしながら、海外景気の下振れによる国内景気の下押しリスクや、増税政策、保険料の負担増加等により、消費の先行きについて不透明な状況となっており、今後の雇用・所得環境等に注視する必要があります。

このような事業環境のなか、当社グループ(当社及び連結子会社)の主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、住宅ローン減税、低金利融資の継続、贈与税非課税枠の特例措置等の住宅取得促進政策に加え、消費税増税前の駆け込み需要等から新設住宅着工戸数が前年に比べ増加となっており、堅調に推移しております。また梱包向の需要は弱含み横這いで推移しました。

一方、電気・輸送機器向事業のうち電気向は、需要家の海外移転や欧州の景気停滞の煽りで低迷し、輸送機器向も中国向け完成車・部品の輸出が落ち込む等、厳しい事業環境が続きました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,525百万円と前年同四半期と比べ98百万円(4.1%増)の増収となりました。営業利益は、24百万円(前年同四半期比15百万円増)となり、経常利益は、12百万円(前年同四半期比3百万円増)となりました。また、四半期純利益は12百万円(前年同四半期比5百万円増)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

## (建設・梱包向)

建設・梱包向事業は、慢性的な職人不足や8-9月の天候不順による住宅着工の遅れはあったものの、総体的に需要は堅調に推移しました。しかし、原材料価格や円安による輸入商品の値上がり分を販売価格に転嫁できなかったことにより、収益率のアップには繋がりませんでした。このような結果、当事業の売上高は、前年同四半期比6.2%増の2,009百万円となり、セグメント利益は前第2四半期累計期間とほぼ同額の109百万円となりました。

## (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、昨年来の円高修正により、需要家の現地調達及び海外シフトが一段落しましたが、当事業向の需要は減少しました。このような結果、当事業の売上高は、前年同四半期比3.6%減の515百万円となりましたが、人件費を含む固定費の削減等によるコストダウンを行ったため、セグメント利益は7百万円(前第2四半期累計期間は3百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,829百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比31百万円減)となりました。流動資産は、前年度末に比べ52百万円減少し2,773百万円となりました。これは主に現金及び預金が31百万円減少し、受取手形及び売掛金が45百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ20百万円増加し2,055百万円となりました。これは有形・無形固定資産の設備投資額が43百万円に対して減価償却費が72百万円となりましたが、投資有価証券が第2四半期連結会計期間末の株価の上昇により、43百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前年度末に比べ72百万円減少し3,934百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ72百万円減少し2,758百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が、主に建設・梱包向において原材料及び輸入商品の代金の支払いが進んだことにより、92百万円減少したことによるものでありま

す。また、短期借入金は54百万円増加しました。固定負債は、長期借入金が前年度末に比べ10百万円減少し、保有株式の時価が上昇したことに伴い、繰延税金負債が15百万円増加したこと等により0百万円増加しました。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,745百万円(前年度末比44百万円増)となりました。これは、原材料と輸入商品価格の高騰に伴い、仕入債務の支払いが増えることを想定し、長期借入金の返済248百万円に対して、長期借入金を270百万円借入れたこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、894百万円となり、前年度末に比べ40百万円増加しました。これは、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益が12百万円となったことと、保有株式の時価が上昇し、その他有価証券評価差額金が、前年度末1百万円であったものが28百万円となったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の17.0%から17.9%となり、1株当たり純資産は67.17円から70.41円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により25百万円、投資活動により50百万円の支出となり、財務活動により44百万円の収入があったことにより、資金は前年度末に比べ31百万円減少し、554百万円となりました。

##### ・営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務が、支払いが進んだことにより92百万円と大幅に減少し、たな卸資産が35百万円増加しました。また、売上債権は45百万円減少しましたが、減価償却費72百万円等により、営業活動に使用した資金は25百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は61百万円の収入)

##### ・投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が42百万円であったこと等により、投資活動に使用した資金は50百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は26百万円の支出)

##### ・財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増が22百万円であり、長期借入金は、新規に270百万円を借入れましたが、返済による支出が248百万円あった結果、財務活動で得られた資金は44百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は38百万円の支出)

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に発表した平成26年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想は、平成25年10月31日に修正いたしました。なお、通期連結業績予想は、建設・梱包向、電気・輸送機器向共に需要の増加に加え、コスト削減と営業努力、販売価格の値上げ等により、収益の改善が見込めるため、修正しておりません。なお、業績に影響を与える事象が発生しましたら、適宜お知らせいたします。

第3四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

##### (建設・梱包向)

主たる需要先である住宅の着工戸数は、平成25年1-9月累計で709千戸、前年同期比10.3%増で推移しております。景況感の改善に加え、ローン金利や資材価格の先高観が個人の住宅取得を後押ししたと考えられ、来春の消費税の増税をにらんだ駆け込み需要も住宅着工を押し上げています。また、主原材料の線材や電力料の値上げが進んでおり、円安による輸入商品のコスト増もあり、販売価格の値上げが

急務となっておりますが、好調な商環境により収益は比較的順調に推移する見通しであります。今後とも当社の特許品である「木割れ最強釘」及びOEM商品等の拡販を図り、新製品開発にも取り組んでまいります。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、昨年来の円高修正による影響で、顧客の海外調達への新たな動きは止まり、海外生産の動きも一段落の状況となっております。このため、当事業向売上げは横這いの状況となりつつあります。東北での自動車関連の事業の動きとして、自動車メーカーや一次部品メーカーが、2015年モデル(2014年立ち上げ)への地場サプライヤーの起用を幅広く進めており、今後の需要の取り込みが期待できる状況となっております。また、現行の締結部品類製造に加え、輸送機器向けを主体に、高付加価値機能部品の製造を行う多段冷間圧造設備を導入することにより、売上増と収益の改善を見込んでおります。

以上のことにより、当連結会計年度(平成26年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,200百万円、連結営業利益100百万円、連結経常利益70百万円、連結当期純利益40百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	585,559	554,294
受取手形及び売掛金	1,295,344	1,250,037
商品及び製品	540,604	599,229
仕掛品	178,271	172,689
原材料及び貯蔵品	203,584	186,441
繰延税金資産	1,291	1,995
その他	25,925	13,044
貸倒引当金	△4,265	△4,038
流動資産合計	2,826,316	2,773,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	582,700	563,769
機械装置及び運搬具(純額)	465,409	458,251
土地	793,421	793,421
その他(純額)	20,458	21,081
有形固定資産合計	1,861,989	1,836,523
無形固定資産		
ソフトウェア	9,583	7,137
その他	15,134	14,585
無形固定資産合計	24,718	21,723
投資その他の資産		
投資有価証券	100,494	143,509
その他	70,969	77,035
貸倒引当金	△23,582	△23,419
投資その他の資産合計	147,882	197,125
固定資産合計	2,034,590	2,055,372
資産合計	4,860,906	4,829,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	889,979	797,011
短期借入金	1,690,174	1,745,075
未払法人税等	13,081	3,002
賞与引当金	35,028	25,593
その他	203,182	187,803
流動負債合計	2,831,444	2,758,484
固定負債		
長期借入金	1,010,977	1,000,446
繰延税金負債	605	15,914
退職給付引当金	136,375	141,471
役員退職慰労引当金	24,965	15,934
資産除去債務	2,529	2,547
固定負債合計	1,175,453	1,176,313
負債合計	4,006,897	3,934,798
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	170,560	182,663
自己株式	△2,898	△2,923
株主資本合計	823,059	835,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096	28,801
その他の包括利益累計額合計	1,096	28,801
少数株主持分	29,852	30,328
純資産合計	854,008	894,267
負債純資産合計	4,860,906	4,829,065



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,426,221	2,525,026
売上原価	2,007,111	2,088,200
売上総利益	419,109	436,825
販売費及び一般管理費	409,803	411,884
営業利益	9,306	24,940
営業外収益		
受取利息	13	50
受取配当金	580	495
受取賃貸料	3,300	6,922
技術指導料	3,000	—
保険解約返戻金	15,444	—
その他	4,020	3,433
営業外収益合計	26,357	10,901
営業外費用		
支払利息	21,264	18,958
その他	4,550	3,955
営業外費用合計	25,814	22,914
経常利益	9,849	12,927
特別損失		
固定資産除却損	4,732	27
特別損失合計	4,732	27
税金等調整前四半期純利益	5,117	12,899
法人税、住民税及び事業税	2,580	1,503
法人税等調整額	△1,457	△1,181
法人税等合計	1,123	321
少数株主損益調整前四半期純利益	3,993	12,578
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,262	475
四半期純利益	6,256	12,102

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,993	12,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,333	27,705
その他の包括利益合計	△26,333	27,705
四半期包括利益	△22,340	40,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,079	39,807
少数株主に係る四半期包括利益	△2,260	475

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,117	12,899
減価償却費	81,294	72,681
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△267	△390
賞与引当金の増減額(△は減少)	△614	△9,435
退職給付引当金の増減額(△は減少)	423	5,095
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,248	3,794
受取利息及び受取配当金	△593	△545
支払利息	21,264	18,958
固定資産除却損	4,732	27
売上債権の増減額(△は増加)	△48,948	45,307
たな卸資産の増減額(△は増加)	34,226	△35,899
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,280	△92,968
その他	14,534	△4,115
小計	89,137	15,410
利息及び配当金の受取額	593	545
利息の支払額	△21,254	△19,041
役員退職慰労金の支払額	△4,100	△12,825
法人税等の支払額	△2,611	△9,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,764	△25,326
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,479	△42,168
無形固定資産の取得による支出	△1,713	△1,142
その他	△2,908	△6,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,100	△50,283
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	110,000	230,000
短期借入金の返済による支出	△133,120	△207,120
長期借入れによる収入	200,000	270,000
長期借入金の返済による支出	△214,968	△248,510
自己株式の取得による支出	—	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,088	44,345
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,424	△31,265
現金及び現金同等物の期首残高	541,525	585,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	539,101	554,294

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,891,671	534,549	2,426,221	—	2,426,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57	2,796	2,853	△2,853	—
計	1,891,728	537,345	2,429,074	△2,853	2,426,221
セグメント利益又は損失(△)	110,242	△3,905	106,336	△97,030	9,306

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	106,336
セグメント間取引消去	△2,215
全社費用(注)	△94,814
四半期連結損益計算書の営業利益	9,306

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,009,646	515,379	2,525,026	—	2,525,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	2,056	2,075	△2,075	—
計	2,009,665	517,435	2,527,101	△2,075	2,525,026
セグメント利益	109,809	7,774	117,584	△92,643	24,940

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	117,584
セグメント間取引消去	△61
全社費用(注)	△92,581
四半期連結損益計算書の営業利益	24,940

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	1,711,383	+14.1
電気・輸送機器向	437,994	△3.0
合計	2,149,378	+10.1

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	2,003,369	+4.3
電気・輸送機器向	532,130	+0.3
合計	2,535,500	+3.5

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	2,009,646	+6.2
電気・輸送機器向	515,379	△3.6
合計	2,525,026	+4.1

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	426,007	17.5	477,537	18.9

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。